

## 九十九島の日フェスタ

この青い海、美しい緑を後世に伝えたい。そんな思いから9月19日の「九十九島の日」は生まれました。

この日にちなみ、9月18、19日の両日、西海パールシーリゾートで「九十九島の日フェスタ」が開催されました。

初日、雨の中、九十九島水族館に集まった大勢の来場者を楽しませたのはテレビなどで活躍中のさかなクン。東京海洋大学客員准教授でもあるさかなクンは、トークショーで魚の絵を描きながらクイズを出題。お馴染みの「ギョギョギョ」というリアクションなどで、観客を沸かせました。

曇り空となった19日、レモンステーキなど佐世保グルメの屋台が大芝生広場で軒を連ねる中、ステージでは、カキ氷やさせばパーガーの早食い、ラムネの早飲みなどのイベントが行われました。夕方からは人気ユニット「Sandy Trip」のライブなどが行われ、夜には9・19発の九十九島夢花火が上ががり、フィナーレを飾りました。



1 倒壊家屋からの救出訓練 2 負傷者の救助訓練 3 沖合い漂流者救助搬送訓練 4 ガス施設応急復旧訓練 5 化学災害対応訓練

## 津波を想定 市総合防災訓練

「防災の日」の9月1日、本市は「第14回佐世保市総合防災訓練」を陸上自衛隊相浦駐屯地で実施。市消防局や自衛隊、海上保安部、県警、米海軍佐世保基地、ガス・電力の事業者、婦人防火クラブなど50団体約1300人が参加しました。今回は3月の東日本大震災を受け、初めて津波を想定した避難訓練も行いました。

訓練は、県北部を震源とするマグニチュード6・9、震度5強の地震が発生する中、時間雨量70ミを越える大雨で家屋の倒壊、道路の損傷があり、負傷者も多数など想定。津波警報発令による避難訓練、消防局職員や自衛隊隊員による倒壊家屋やビルに取り残された市民を救出する訓練など、31項目の訓練を行いました。

訓練終了後、災害対策本部長の朝長市長は「災害はいつどこで発生するか分からないとの意識を持ち、自らのこととして備えましょう」と講評しました。

## 世界大会で準優勝



8月18～19日にタイ・パタヤ市で開催された「第12回船越義珍杯少年世界空手道選手権大会」に日本代表選手として出場し、女子9歳個人戦相手の部で準優勝した中山咲希さん(赤崎小3年)が、9月5日、市役所を訪れました。

同部門には6カ国12人が出場。中山さんは準決勝までベネズエラ、タイ、南アフリカの選手に一本勝ちし、決勝で愛媛県の選手に敗れました。朝長市長から大会の感想を尋ねられた中山さんは「外国の選手は体が大きかったので緊張した。これから練習を続けて、3年後にある次の大会では優勝したい」と話しました。市長は「大変素晴らしい成績を収めてくれてうれしいです。今後の活躍を期待しています」と健闘をたたえました。